

政策立案コンテスト 政策提言書

CARP 名																								
金沢 CARP																								
政策タイトル																								
国学を導入して子どもたちに価値観を持たせます																								
理想の国家・社会像																								
私たちが考える理想の国家像は「国民 1 人 1 人が価値基準を持ち、主人意識をもって社会に参加し、国民自ら社会問題を解決していく国家」です。																								
解決したい問題と、その根本的な原因																								
<p>解決したい問題は「若者の社会に対する主人意識の欠如」です。根本的な原因は若者が「社会がどうあるべきか、自分はどう生きたいのかという価値観を持たないから」です。</p> <p style="text-align: center;">平成25年度 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査</p> <p style="text-align: center;">■ 宗教が心の支えになっている ■ 社会をよくするために私は社会問題に関与したい</p> <table border="1"> <caption>平成25年度 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査 (単位: %)</caption> <thead> <tr> <th>国</th> <th>宗教が心の支えになっている (%)</th> <th>社会をよくするために私は社会問題に関与したい (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本</td> <td>18.4</td> <td>44.3</td> </tr> <tr> <td>フランス</td> <td>22.9</td> <td>50.9</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン</td> <td>25.7</td> <td>52.9</td> </tr> <tr> <td>英国</td> <td>40.2</td> <td>57.1</td> </tr> <tr> <td>韓国</td> <td>33.9</td> <td>60.4</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>55.3</td> <td>64.3</td> </tr> <tr> <td>ドイツ</td> <td>36.4</td> <td>76.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>学習指導要領では高等学校では道徳教育として「自分の価値観を形成し主体性を持っていきたいという意欲を高める」ことを目指しています。しかし、高等学校の道徳教育の現状は「道徳教育を行わない、もしくはこの目標に対して教育内容が不十分である」というものです。つまり、子供たちが価値観を持てるように、道徳教育のカリキュラムを具体的に作成し導入することが「若者の社会に対する主人意識の欠如」への解決策となります。</p>	国	宗教が心の支えになっている (%)	社会をよくするために私は社会問題に関与したい (%)	日本	18.4	44.3	フランス	22.9	50.9	スウェーデン	25.7	52.9	英国	40.2	57.1	韓国	33.9	60.4	アメリカ	55.3	64.3	ドイツ	36.4	76.2
国	宗教が心の支えになっている (%)	社会をよくするために私は社会問題に関与したい (%)																						
日本	18.4	44.3																						
フランス	22.9	50.9																						
スウェーデン	25.7	52.9																						
英国	40.2	57.1																						
韓国	33.9	60.4																						
アメリカ	55.3	64.3																						
ドイツ	36.4	76.2																						

政策案（比較案があれば併記）

私たちは国学という新しい歴史教育を提案します。国学という名前には**しっかりとした価値観を持ち、国の将来を考え、国や社会の主人になる人を育てたい**という願いがあります。

高等学校の道徳教育の内容として以下の3つの内容が必要となります。

- ①**価値観の必要性**
- ②**人間としての在り方、生き方(価値観)**
- ③**自分の価値基準を持つ**

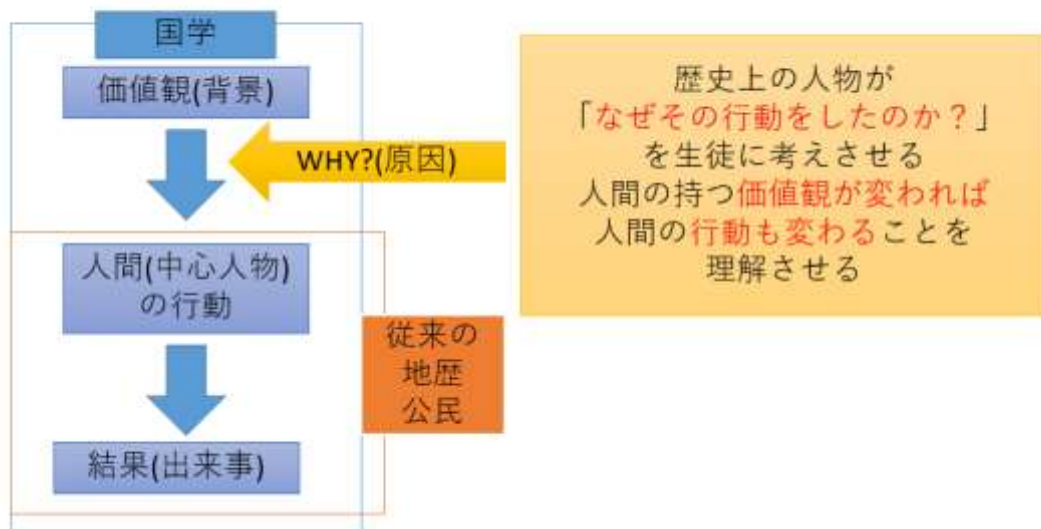
また、高等学校で道徳教育を行うためには授業時間の確保が課題であるので、道徳教育は**④授業と関連した内容**であるべきです。

国学の内容について以上4つの項目から説明します

道徳教育で必要なもの	国学の内容	具体的な方法
① 価値観の必要性	歴史の中で価値観がどう社会に影響を与えたかを学ぶ	人物の行動の原因(Why)を考えさせる
② 人間としての在り方、生き方(価値観)	先人の生涯を学ぶ	人物の生涯にスポット、地域の人の講演、偉人の本を読ませる
③ 自分の価値基準を持つ	学んだものから人はどう生きるべきか、自分はどう生きたいか考える	ディスカッション、自分史、スピーチなどによって主体的に考えさせる
④ 授業と関連した内容	地歴・公民の授業の一部として教える	カリキュラムの工夫 具体的で客観的な評価基準を与える

①**価値観の必要性**

● **歴史の中で価値観がどう社会に影響を与えたかを学ぶ**



②人間としての在り方、生き方(価値観)

● 先人の生涯を学ぶ

人物に
スポット

- 出来事ではなく歴史上の人物を中心にする
- 1人1人の人物の生涯にスポットを当てる

講演の活用

- 地域の人(経営者、NPOの人、大学生)に講演してもらう
- 今、生きている人の考えに触れさせる

偉人の本をたくさん
読む

- 多くの歴史上の人物の歩みに触れる

③自分の価値基準を持つ

● 学んだものから人はどう生きるべきか、自分はどう 生きたいか考える

ディスカッション

- 意見を言ったり聞いたりする中で自然と自分自身の価値観、基準を持たせる

自分史

- 生まれてから現在までの自分の歩みを振り返る
- これから自分は何をしたいのかを考える

夢について
スピーチ

- 自分の将来の夢を持たせる
- なぜそうしたいのかを説明させることで価値観をはっきりさせる

④授業と関連した内容

● 地理歴史、公民の授業の一部として教える

